

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

<15週> 沖縄県で水痘の流行 定点当たり5.6の報告 / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4

<麻疹流行状況> 第15週の報告患者総数は716で、定点当たり報告数は0.24



病原体情報
P.5

インフルエンザウイルス分離報告 / 感染性胃腸炎 SRSVおよびロタウイルス検出報告 / 流行性角結膜炎患者から分離されたアデノウイルス報告



IASRからの速報
P.6

B型肝炎母子感染防止事業開始後に出生した小児のHBVキャリアー率



海外感染症情報
P.7-8

英国でラッサ熱患者接触者のフォローアップ / コソボにおける野兔病(ツラレミア) / 他



感染症の話
P.9-11

黄熱
アフリカの熱帯地方やアマゾン川流域の国々で侵淫しており、蚊を媒体として感染が伝播する



読者のコーナー
P.12



グラフ総覧(15週)
P.13-19



15週のデータ
P.20-27



発生動向総覧

第15週コメント 4月21日集計分

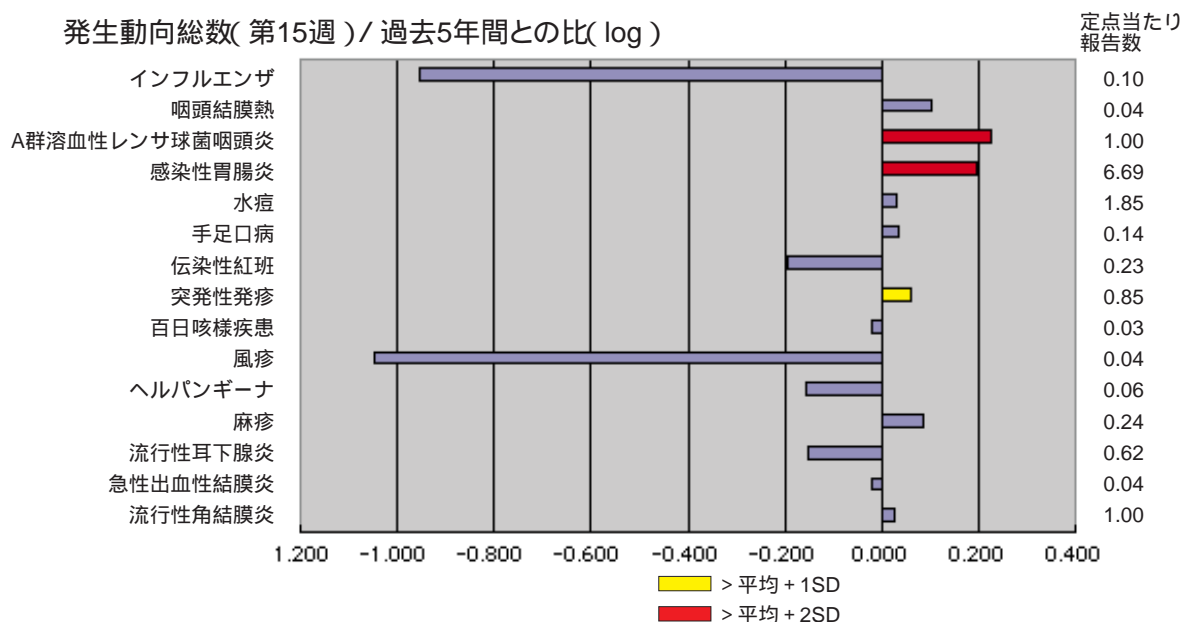
全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: コレラ1例(推定感染地: インド)
細菌性赤痢28例(推定感染地: タイ12例、インド6例、インドネシア3例、フィリピン2例、ベトナム1例、インドまたはタイ1例、ベトナムまたはカンボジア1例、インドまたはネパール1例、不明1例) 国外2ツアーの旅行者より集団発生が確認されている。
腸チフス6例(推定感染地: インド1例、インドネシア1例、フィリピン1例、ネパール1例、タイまたはインド1例、不明1例)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症11例
- 4類感染症: アメーバ赤痢9例、
急性ウイルス性肝炎7例
A型3例__推定感染地: 国内2例、レバノン1例
B型4例__性行為感染3例、感染経路不明1例
クロイツフェルト・ヤコブ病1例(孤発性)、後天性免疫不全症候群8例、
ジアルジア症6例、髄膜炎菌性髄膜炎1例、コクシジオイデス症1例(推定感染地: アメリカ合衆国)、デング熱1例(推定感染地: インド)、梅毒6例、破傷風1例、
レジオネラ症6例(うち静岡県5例)、マラリア6例(熱帯熱マラリア1例__推定感染地: インドネシア、三日熱マラリア1例__推定感染地: ケニア、種類不明4例__推定感染地: インド1例、不明3例)

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎の定点当たり報告数が例年の同時期よりかなり多く、過去10年間で最大の流行曲線を描いている(13-14ページグラフ総覧、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎参照)。患者の年齢階級別で見ると、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、3歳から7歳の小児が全体の約7割を占め、ピークは5歳にある。感染性胃腸炎は6歳以下の小児が全体の4分の3を占め、ピークは1歳にある(感染性胃腸炎の病原体については5ページ参照)。水痘は沖縄県で流行が見られ、定点当たり5.6の報告がある。麻疹は大阪府、千葉県で大きな流行が見られ、兵庫県、栃木県、香川県、茨城県、岐阜県、滋賀県などでも患者報告数が多くなっている(4ページ注目すべき感染症参照)。

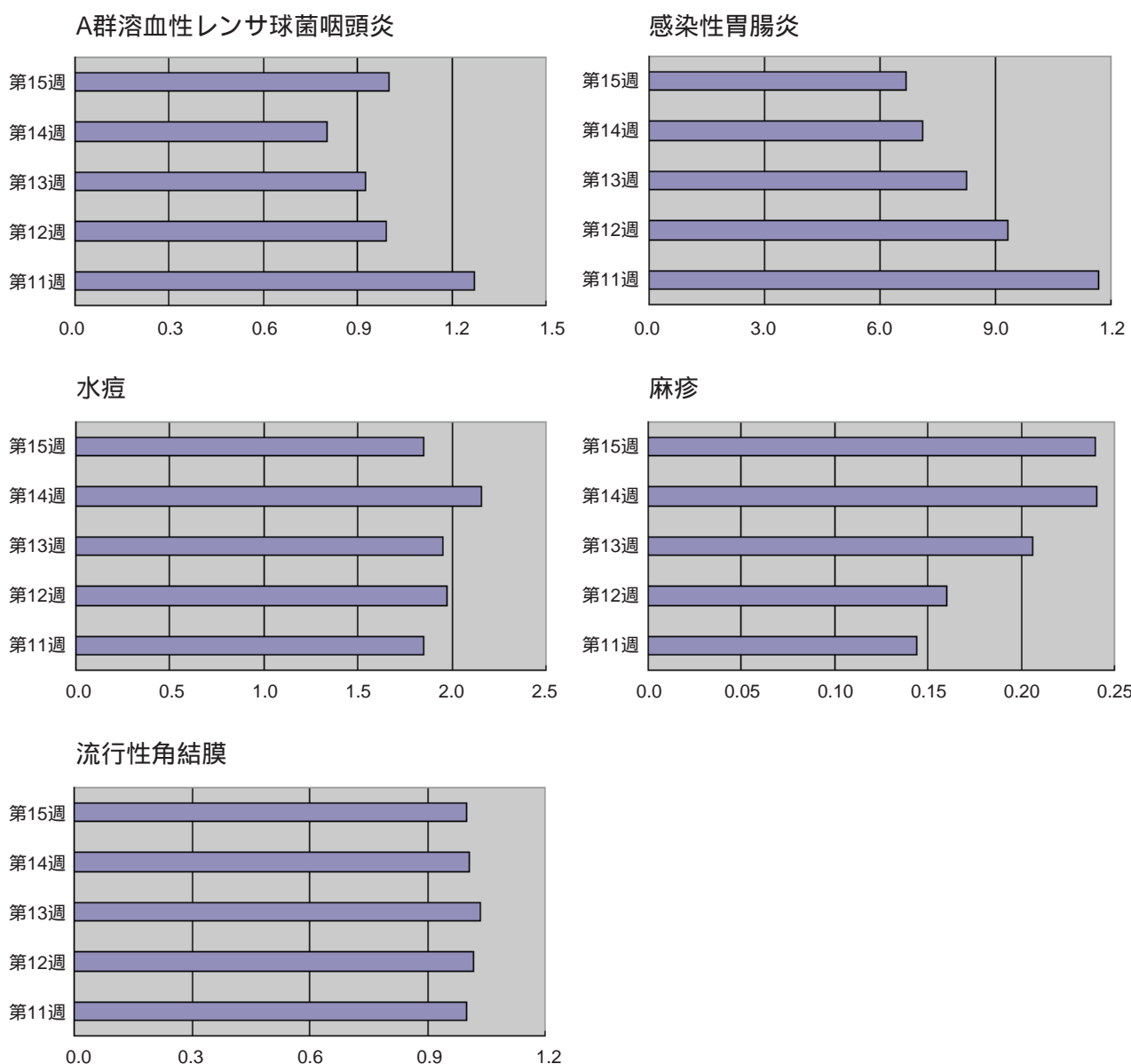
発生動向総数(第15週)/過去5年間との比(log)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

最近の注目疾患-5週間の動き

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎はこのところ患者報告数が減少傾向にあったが、今週は前週の定点当たり報告数を上回った。感染性胃腸炎は4週続けて定点当たり報告数が前週より減少した。水痘の定点当たり報告数はほぼ横ばいである。麻疹患者の定点当たり報告数は著明な増加傾向にあったが、今週は前週と同じ定点当たり報告数であった。麻疹は既に流行期に入っており、今後も患者数の増加が予想されるので、疾患の動向に注意が必要である。流行性角結膜炎の定点当たり報告数はほぼ横ばいである。



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



注目すべき感染症

麻疹流行状況

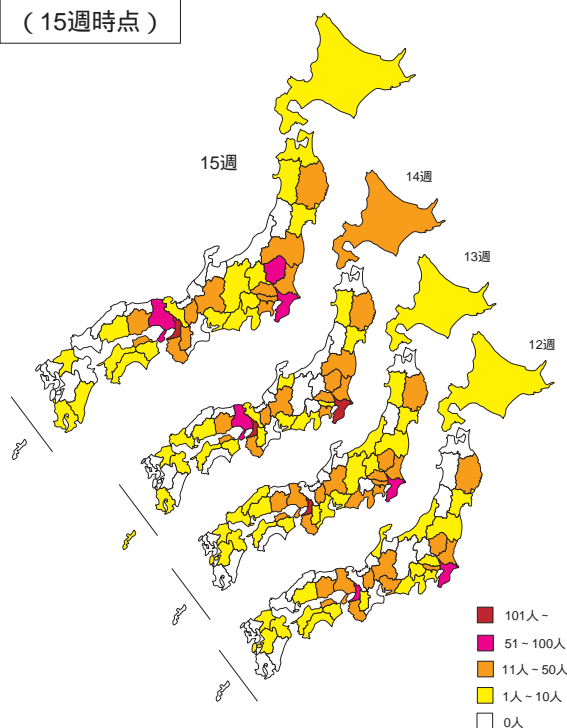
2000年第15週(4月10日～4月16日)の、全国定点医療機関からの麻疹報告患者総数は716で、定点当たり報告数は0.24である。2000年第1週からの累積患者数は5,318、性別内訳は男2,917、女2,401とやや男性に多い。年齢階級別では1歳未満732(うち6ヶ月以下77)、1歳1,302、2歳585、3歳447、4歳337、5～9歳1,134、10～19歳699、20歳以上82となっている。1999年4月より施行された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(以下新法)」によれば、小児科定点から報告される麻疹患者は18歳未満の小児であるが、小児科を受診する成人麻疹患者もあり、実際はこれらの症例が小児科定点を通じて報告されている。

新法では別に「成人麻疹」という項目を設けてサーベイランスを行っているが、これらの症例は基幹病院定点からの報告であり、多くは入院を要するような比較的重症例であると考えられる。2000年第1週からの成人麻疹累積患者数は50で、年齢階級別では、～19歳14、20～24歳18、25～29歳10、30～34歳7、40～44歳1となっている。

今年の麻疹流行曲線(16ページグラフ総覧、麻疹参照)をみると、過去10年間と比較して特別大きな流行ではないが、95、97、98、99年より定点当たり報告数が多くなっている。現在のところ、都道府県別では、以下の地図グラフで示すように、大阪府、千葉県、兵庫県、栃木県、香川県、茨城県、岐阜県、滋賀県、岩手県、埼玉県、和歌山県、岡山県、など近畿・関東で患者報告数が多くなっている。

基幹病院定点より報告される4類感染症の病原体報告によると、2000年第15週までに急性脳炎から麻疹ウイルスの分離が1件、クラミジア肺炎と診断された症例から麻疹ウイルスの分離が1件報告されている。成人麻疹の患者から分離されたウイルスは、麻疹ウイルス32件、風疹ウイルス1件、その他病原体3件であった。

発生動向調査
(15週時点)





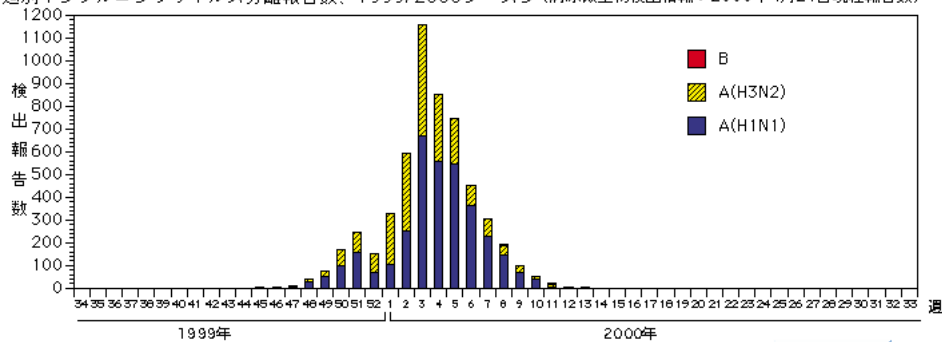
病原体情報

インフルエンザ 1999/2000シーズン*(2000年4月24日現在報告分)

病原微生物検出情報事務局に入ったインフルエンザ分離報告をまとめると、A/香港型ウイルス(H3N2)は2,117、A/ソ連型ウイルス(H1N1)は3,408とソ連型の分離が多くなっている。今シーズンのB型分離報告は広島県、福岡市、仙台市、大阪市、奈良県より1件ずつ計5件である。

*1999/2000シーズンは1999年第34週(8/22-8/28)から。

週別インフルエンザウイルス分離報告数、1999/2000シーズン(病原微生物検出情報：2000年4月21日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

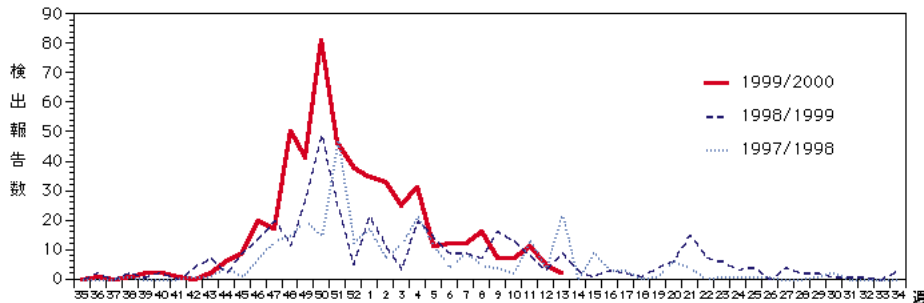
感染性胃腸炎 1999/2000シーズン* SRSVおよびロタウイルス 検出報告(2000年4月24日現在報告分)

今シーズンのSRSV検出総数は553件で、検出報告数は1999年第50週をピークに減少中である。ロタウイルスの検出報告は、現在のところ2000年第8、9週にピークが見られている。今シーズンのロタウイルス検出総数は358件で、2000年に入って大阪府、奈良県、新潟県、香川県、大阪市などから計313件の検出報告があった。

*1999/2000シーズンは1999年第35週(8/29-9/4)から。

週別SRSVの検出報告数、シーズン別比較(1997/1998、1998/1999、1999/2000)

(病原微生物検出情報：2000年4月21日現在報告数)



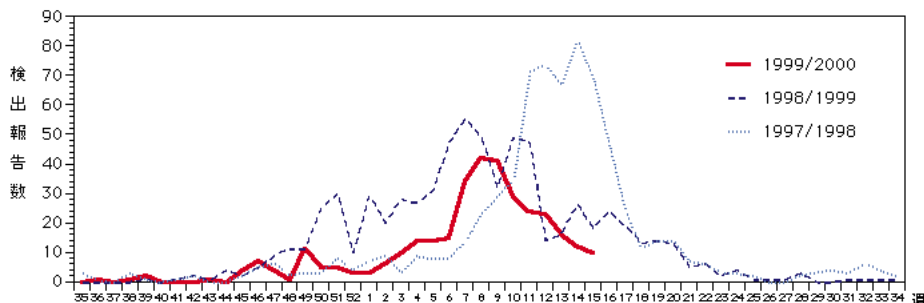
各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

週別ロタウイルスの検出報告数、シーズン別比較(1997/1998、1998/1999、1999/2000)

(病原微生物検出情報：2000年4月21日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

流行性角結膜炎患者から分離されたウイルス

2000年(2000年4月24日現在報告分)

岡山県からアデノウイルス4型が2件(第2週、5週) 神奈川県からアデノウイルス19型が1件(第2週) の分離報告があった。

B型肝炎母子感染防止事業開始後に出生した小児のHBV キャリアー率

B型肝炎ウイルス(HBV)感染疫学における大きな特徴は、無症候性ウイルス保有者(キャリアー)が存在すること、そしてこのキャリアーの成立がほとんど乳幼児期の感染に限られることである。乳幼児期のHBVの感染は、その社会の衛生環境状況により大きく異なり、近年のわが国のごとく衛生環境が整った社会では母子感染の比重が高い。

厚生省は1985年6月からB型肝炎母子感染防止事業を開始し、全国の妊婦のHBs抗原検査を公費で行い、これが陽性の場合にはHBe抗原検査を行った。そして1986年1月1日以降、HBe抗原陽性HBs抗原陽性妊婦から出生した児に対して感染防御処置が公費で行われてきた。当時のHBワクチンは血漿由来であり、その抗体産生が現在の遺伝子組換えHBワクチンほど良くなかった点や、出生直後の新生児にHBワクチン接種することの安全性を危惧する声もあり、HBワクチン接種開始は生後2ないし3カ月とされ、その後1カ月、3カ月の計3回の接種が決まった。そして出生時と生後2カ月にHBIGを投与するというプロトコールが設定され、その後も用いられてきている。本事業の結果、母子感染によるHBVキャリアー率は事業開始前の0.26%から、事業開始9年後には0.024%と10分の1に低下したものと推算されている。近年の学童、生徒のHBs抗原検査の結果は、出生年別にみるとこの推算値に一致しており、わが国では出生後の感染でHBVキャリアーになることが極めて少ないことが示唆される。

岩手県予防衛生協会(大石、小山ら)が県下の小学生について毎年行っている調査によると、小学校4年生のHBs抗原陽性率は、1978年生まれの児では0.94%であったものが、県内で部分的に感染防止処置の治験が行われた1981～1985年生まれの学童では0.47%～0.16%、厚生省事業による感染防止処置が始まった以降に生まれた学童では、期待値どおり出生年1986～1989年別にそれぞれ0.04%、0.06%、0.03%、0.03%にまで低下したことが明らかとなった。

静岡県で能登らが行っている調査によると小学校5、6年生のHBs抗原陽性率は1986～1993年はおおよそ0.3%前後で推移していた。厚生省B型肝炎母子感染防止事業による感染防止処置が開始された1986年以降の出生児が調査対象となった1997年、1998年では、学童17,189人中HBs抗原陽性者は5人(0.03%)で、明らかに低下していた。

このようにわが国の厚生省B型肝炎母子感染防止事業はHBVキャリアーの新規発生の抑制に大きな効果を示したが、HBe抗体陽性キャリアー妊婦からの出生児の一部に急性肝炎、劇症肝炎が発症することが明らかとなり、これに対しても感染防止をすべきであると考えられ、1995年4月、この事業の見直しが行われた。すなわち感染防止対象をHBe抗原陽性陰性にかかわらず、すべてのHBs抗原陽性妊婦からの出生児に拡大するとともに、妊婦のHBs抗原スクリーニングを除いて、すべての検査、処置が健康保険適応に移管された(HBs抗原検査はB型肝炎母子感染防止事業による給付対象)。この結果、HBV母子感染防止は一般医療の中に組み込まれたわけであるが、そのために実施率が低下することが危惧されており、さらなるPRが必要と考えられる。

鳥取大学名誉教授 白木和夫

(病原微生物検出情報4月号-IASR vol.21 No.4, 2000-掲載記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

英国でラッサ熱患者接触者のフォローアップ

Eurosurveillance Weekly 2000年4月20日

先月報告したラッサ熱に罹患した英国の援助活動者との接触者に対するフォローアップが終了した。ラッサ熱患者は感染症病棟で積極的な看護と治療を施されたが、高度隔離病棟で3月23日に死亡した。

接触者は92人で、それらは接触の程度を、ガイドラインによって患者との接触、血液または体液に曝露した後、21日間体温の監視の必要があると思われた者である。経過観察された者でラッサ熱により体調が悪くなった者はいなかった。

患者との接触の程度を評価した上で、10人がリバビリンの予防的な内服を勧められ、その中の7人が服用した。

コンボにおける野兔病(ツラレミア)

WHO(CSR) 2000年4月20日

コンボにおいて野兔病の流行が検査室検査によって確認された。公衆衛生研究所は同国のほぼ90%の地域にまたがって250例の疑い例(suspected cases)を認めた。その大部分の症例は西部地域でみられていた。野兔病は北アメリカや東ヨーロッパ、中国、日本やスカンジナビア諸国などの世界の多くの国でみられる細菌感染症で動物から感染し多彩な臨床症状を呈する。コンボの患者には高熱、体部痛、リンパ節腫大および嚥下困難などの症状がみられ、2～3週間持続して認められたが、死亡者は報告されていない。野兔病は人から人への直接の感染伝播は日常生活においては見られない。今回の流行の感染経路と感染源を同定するため調査が引き続き行われている。

メッカ巡礼に関連した髄膜炎菌感染症 - フランス、イギリス、オマーン、サウジアラビア、オランダ

WHO(CSR) 2000年4月20日

フランス - 更新

メッカ巡礼に参加した巡礼者と関連した髄膜炎菌感染症患者の数は増加し、死者4名を含む患者数22名となった。確認された原因菌はW135群髄膜炎菌が11件であった。

イギリス - 更新

巡礼者に関連した髄膜炎菌感染症患者の数は増加し、死者4名を含む患者数22名となった。確認された原因菌はW135群髄膜炎菌が20件、A群髄膜炎菌が1件であった。4月20日までに報告された髄膜炎菌感染症患者のうち、最も新しい患者の発症は4月11日であった。

オマーン

4月20日までに患者は12名となったが、全員回復した。そのうち3名(男性2名40歳と55歳、女性1名60歳)はHaj(サウジアラビア、メッカ巡礼)から帰国した巡礼者で、9名はHajからの帰国者と密接な接触があった。患者の年齢層は月齢6ヶ月から80歳までの範囲であった。最初の患者の発症は3月20日で、最も新しい患者は4月6日に報告された。確認された原因菌はW135群髄膜炎菌が7件、A群髄膜炎菌は2件だった。

サウジアラビア

メッカ巡礼のあった3月以来、死者55名を含む患者総数199名が報告された。細菌学的検査によりA群髄膜炎菌が55件、W135群髄膜炎菌が30件、B群髄膜炎菌1件が明らかとなった。今年は、東南アジアからの巡礼者の増加により記録的な数の巡礼者(約130万人)がHajのためサウジアラビアへ渡航した。保健当局は嚴重に状況の監視を行っている。患者の管理と接触者の追跡調査が実施されている。

オランダ

メッカ巡礼から帰国した巡礼者と密接な接触のあった人から、髄膜炎菌感染症の患者2名、疑い1名が確認された。患者の発症日は、4月5日と6日で、両者の検体からW135群髄膜炎菌が分離された。

1999年狂犬病の予防的治療、デンマーク

Eurosurveillance Weekly 2000年4月13日

デンマークの伝染病サーベイランス公報Epi-Newsによると、1999年に動物に咬まれ予防的に狂犬病治療を受けた人は76人であった。うち4分の3の人々は国外での咬傷によるもので、イヌによる咬傷が最も多かった。36人はアジアで、16人はデンマークで、12人はヨーロッパの他の国で予防的治療を受けた。タイから報告された23件のうち12件はイヌ咬傷、8件はサル咬傷、3件はネコ咬傷によるものだった。

WHOの狂犬病サーベイランス報告によると、1997年には全世界で50,000人が狂犬病によって亡くなっており、このうち33,000人はアジアで、そのほとんどがインドで亡くなっている。年間死亡数が最も少なかったのはヨーロッパで13人、うち10人はロシアだった。1999年の1月から9月までの間に4件の死亡事例が報告されており、そのすべてがロシアよりの報告であった。

英国では狂犬病の制御と予防に関する新法案を2月末より導入した。これによって西ヨーロッパ諸国から入国する飼いネコと飼いイヌおよび南洋州(Australasia)からの援助犬の検疫が廃止された。



感染症の話

黄熱

黄熱ウイルスの主要な脊椎動物の宿主はサルとヒトである。ウイルス血症は約8日間続いてその後終生免疫を残す。アフリカでは主にアフリカモドリザルが感染するが、中南米では多種類のサル(リスザル、マーモセット、ホエザル、クモザルなど)が感染し、感染した場合それらのサルの致命率は高い。蚊は媒介動物でありまた保有宿主でもある。Aedes属(主としてアフリカ)、Haemagogus属(主としてアメリカ大陸)のいろいろな種が関与する。

節足動物中でのウイルスの増殖には4ないし10日を要し、それ以前には感染力はない。

疫学 黄熱の浸淫地帯

北緯15度と南緯15度に挟まれたアフリカの熱帯地方にはこの浸淫地帯が広がっている(図1)が、例外はジブチ、ソマリア北部、マダガスカルとAedesを駆逐した都市である。アメリカ大陸の熱帯地方では、北はパナマから南緯15度に至るまで広がっており(図2)雨季に発生が多い。特にアマゾン川流域の熱帯雨林に接した国々で地域流行を起こし毎年のように患者発生がある。WHOによれば過去20年間で黄熱の患者数は増加しており、患者を報告した国数も増えている。アジアと太平洋では、黄熱は存在しないが少なくとも都市部にはAedes aegyptiが生息するため伝播状況は整っている。

< 第二次世界大戦後の大きな流行 >

- | | |
|--|--------------------------|
| 1. 西パナマで始まりメキシコで終息した
中米の流行(1949 - 1956) | 6. ブルキナファソ(1969と1983) |
| 2. トリニダード(1954) | 7. アンゴラ(1971) |
| 3. エチオピア(1960 - 1962) | 8. シエラレオネ(1975) |
| 4. セネガル(1965) | 9. ガーナ(1977 - 1979と1983) |
| 5. ナイジェリア(1969) | 10. ガンビア(1978 - 1979) |

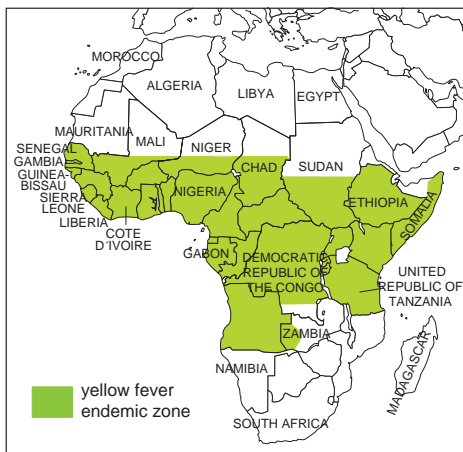


図1. アフリカ大陸における黄熱の浸淫地域



図2. 南アメリカにおける黄熱の浸淫地域
(図1、2 WHO資料)

病原体

黄熱ウイルス。フラビウイルス科フラビウイルス属に属する。前述の感染媒介蚊に刺されることによって黄熱ウイルスが伝搬する。

臨床症状

潜伏期: 通常6ないし9日である。偶発的な実験室内感染ではより長い潜伏期10～13日の例が報告されている。

軽症黄熱: 発熱と頭痛が突然あらわれ、鼻カタル症状のない点を除けばインフルエンザに類似している。症状を列挙すれば、頭痛・発熱・悪心・嘔吐・結膜充血・蛋白尿などである。1～3日で回復する。

重症黄熱: 感染期、緩解期、中毒期の3段階に明確に分けられる臨床経過が特徴である。緩解期は、わずか数時間である。発病は、頭痛・眩暈・高熱で突然はじまり、第2病日までにはFagetの徴候“高熱にもかかわらず脈拍数は48～52/分という徐脈”が現われる。黄熱の古典的三徴候は、黄疸・出血(鼻出血・歯肉出血・下血・子宮出血)・蛋白尿(高度の蛋白尿であっても浮腫・腹水をきたすことは稀である)である。その他の症状として、嘔吐・結膜充血・顔面紅潮・せん妄などがある。

検査所見:

病初期に進行性白血球減少症(主として好中球の減少)、白血球総数は第10病日までには正常化する。

血小板数は正常または減少する。黄疸のある症例では凝固時間・プロトロンビン時間・部分トロンボプラスチン時間の顕著な延長。

総ビリルビン(抱合型ビリルビン)の増加、血清GOT値の著大な増加(黄疸例で特に顕著である)。

髄液は正常である。

病原診断

1. ウイルス分離

発症後3日以内に採取された検体から最もよく分離できる。蚊の培養細胞(株化細胞としてC6/36が一般的)またはオオカの胸部に接種を行う。または、PCR法を用いて遺伝子を検出する。

2. 血清学的検査

ペア血清を用いたブラック減少中和試験、黄熱IgM抗体の検出が黄熱ウイルスに特異的な検査法である。中和試験は判定に時間がかかるのが欠点である。

治療・予防

対症療法のみである。

予防(黄熱ワクチン):

(1) ワクチン株

Max Theilerにより、1927年にAsibiという患者から分離された黄熱ウイルスを、種々の培養初代細胞で頻回継代し、最終的に鶏胎児胚細胞で増殖させて弱毒化した。ワクチンはこれを、発育鶏卵に接種して作られている。

(2) ワクチン

日本で使用されているワクチンは、米国Connaught社から輸入したものである。凍結乾燥品であり、使用直前に添付の生理食塩水に溶解して0.5mlを皮下注射する。黄熱ワクチンの接種が行

われている施設は表1のごとくである。

(3)適用

黄熱の汚染地域を有する国に入国するときは、黄熱ワクチンの接種証明書を求められることがある。現在、接種が要求される国の情報は表2のごとくであるが、最新の情報は渡航前に国内の検疫所(表1)に問い合わせるとよい。

感染症新法の中での黄熱の取扱い

黄熱は第4類の全数把握疾患に定められており、診断した医師は7日以内に保健所に届け出る必要がある。報告のための基準は、以下の通りとなっている。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下のいずれかの方法によって病原体診断や血清学的診断がなされたもの。

- ・病原体の検出
例: ウイルスの分離など
- ・病原体の遺伝子の検出
例: 血液からのPCR法による検出など
- ・病原体に対する抗体の検出
例: 黄熱IgM抗体の検出
ペア血清を用いたブラック減少中和試験など

表 1

検疫所	住 所	電 話
小樽検疫所	小樽市港町5-3 (小樽港湾合同庁舎)	0134-23-4162
仙台検疫所	塩釜市真山通3-4-1 (塩釜港湾合同庁舎)	022-367-8101
成田空港検疫所	成田市古込字古込1-1 (第2旅客ターミナルビル)	0476-34-2310
東京検疫所	港区港南3-9-35 (東京港湾合同庁舎)	03-3471-7922
横浜検疫所	横浜市中区海岸通1-1 (横浜第2港湾合同庁舎)	045-201-4456
新潟検疫所	新潟市亀が島1-5-4 (新潟港湾合同庁舎)	025-244-6569
名古屋検疫所	名古屋市港区築地町11-1	052-661-4131
大阪検疫所	大阪市港区築港4-10-3 (大阪港湾合同庁舎)	06-6571-3522
関西空港検疫所	泉南郡田尻町泉州空港中1番地 (関西空港CIQ合同庁舎)	0724-55-1282
神戸検疫所	神戸市兵庫区遠矢浜町1-1	078-672-9653
広島検疫所	広島市南区宇品海岸3-10-17 (広島港湾合同庁舎)	082-251-1836
福岡検疫所	福岡市博多区沖浜町1-22 (福岡港湾合同庁舎)	092-291-3585
福岡検疫所鹿児島検疫所支所	鹿児島市泉町18-2-31 (鹿児島港湾合同庁舎)	099-222-8670
那覇検疫所	那覇市港町2-11-1 (那覇港湾合同庁舎)	098-868-1674
日本検疫衛生協会		
横浜診療所	横浜市中区山下町2番地 (産業貿易センタービル3F)	045-671-7041
東京診療所	東京都千代田区丸の内1-8-2 (第一鉄鋼ビル5F)	03-3201-0848

表2 国内に黄熱汚染地域をもつ国(平成12年3月15日現在 WHO/WER No.11, 2000より)

アフリカ:	アンゴラ、ベナン、ブルキナ・ファソ、カメルーン、ガボン、ガンビア、ガーナ、ギニア、リベリア、ナイジェリア、シエラレオネ、スーダン、コンゴ民主共和国(旧ザイール)
南アメリカ:	ボリビア、ブラジル、コロンビア、エクアドル、仏領ギアナ、ペルー、ベネズエラ

(国立感染症研究所 ウイルス第一部神経系ウイルス室 高崎 智彦)



読者のコーナー

F県 Sさんより

県の健康対策課に勤めています。基幹病院定点の先生から質問を受けたのですが、医師は「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」第12条第1項第2号で定められた4類感染症の無症状病原体保有者を届け出なければならないことになっています。一方、通知「感染症新法に基づく医師から都道府県知事等への届け出のための基準について」(平成11年3月30日健医感発第46号)では、当該病原菌による感染症であることが報告基準の中に盛り込まれています。問題となっているのは薬剤耐性菌の届け出についてなのです。保菌者を報告数に含めるのかどうか明確に教えて下さい。

薬剤耐性菌の届け出について

感染症新法における第12条第1項第2号で定められた、4類感染症のうち無症状病原体保有者(保菌者)を届け出なければならないものについては、同法施行規則第4条第10項第3号において規定されています。お尋ねの薬剤耐性菌によるもののなかでは、バンコマイシン耐性腸球菌によるもののみです。従いまして、これ以外のメチシリン耐性黄色ブドウ球菌、多剤耐性緑膿菌、ペニシリン耐性肺炎球菌については、患者のみがサーベイランスの対象となります。バンコマイシン耐性腸球菌は、まだ日本では報告例が少なく、当面は病原体の分離そのものが報告として重要と考えられるからです。

なお、通知「感染症新法に基づく医師から都道府県知事等への届け出のための基準について」(平成11年3月30日健医感発第46号)のバンコマイシン耐性腸球菌感染症の項で、「症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下のいずれかの方法によって病原体診断がなされたもの」と書かれているので、一見すると患者のみの報告でいよいよ受け取られるかも知れませんが、この記述に続く病原体の検出の項で、vanA、vanB型について「当面は、便や尿から分離されるなど定着例が疑われるものを含む」となっており、無症状病原体保有者についての報告についてふれています。

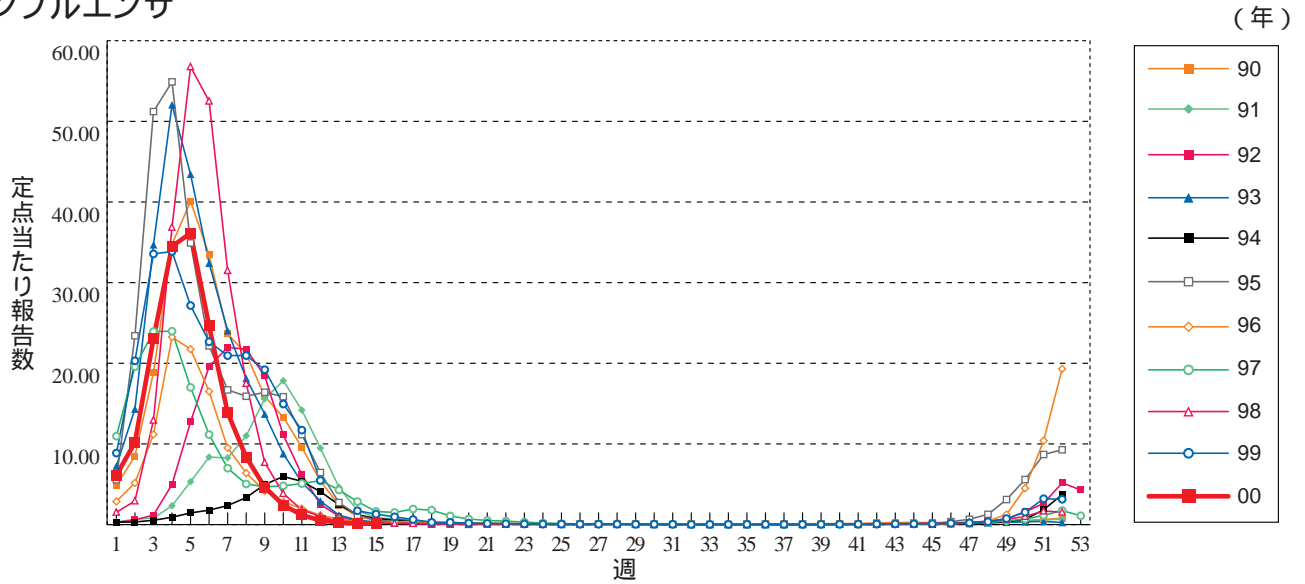
「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

idsc-query@nih.go.jp

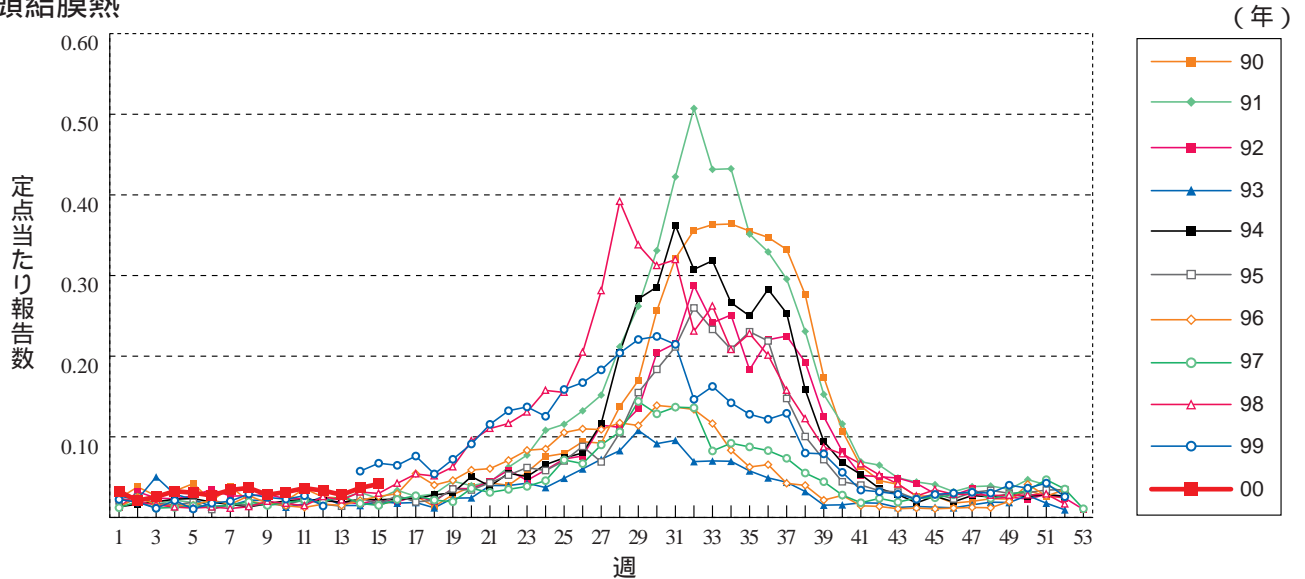


グラフ総覧(15週)

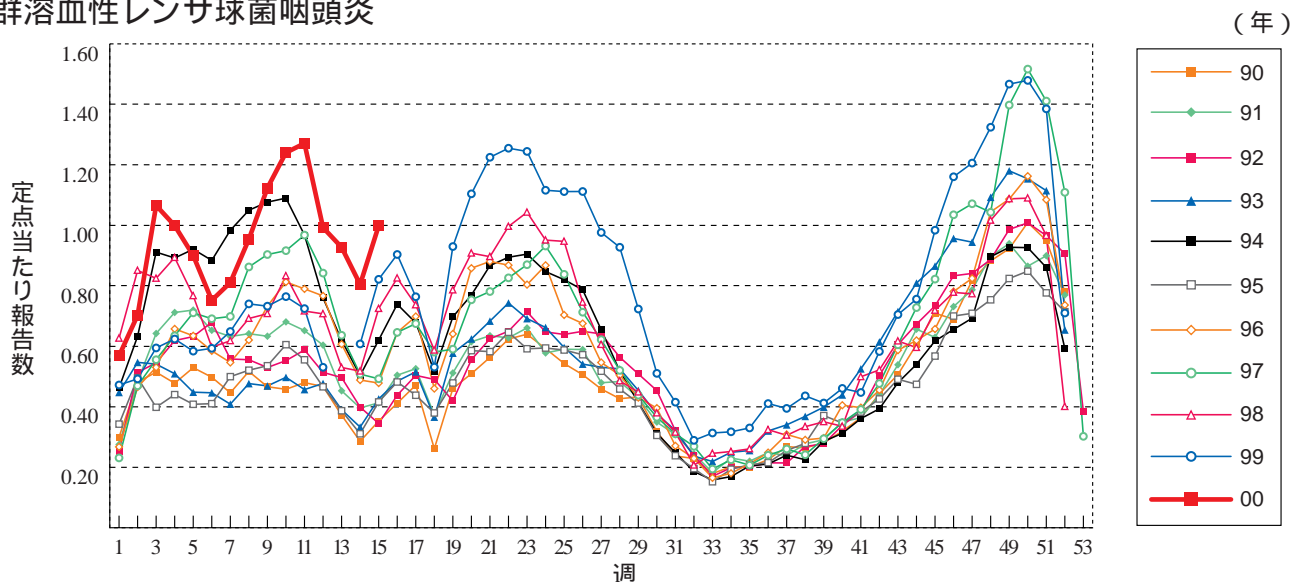
インフルエンザ



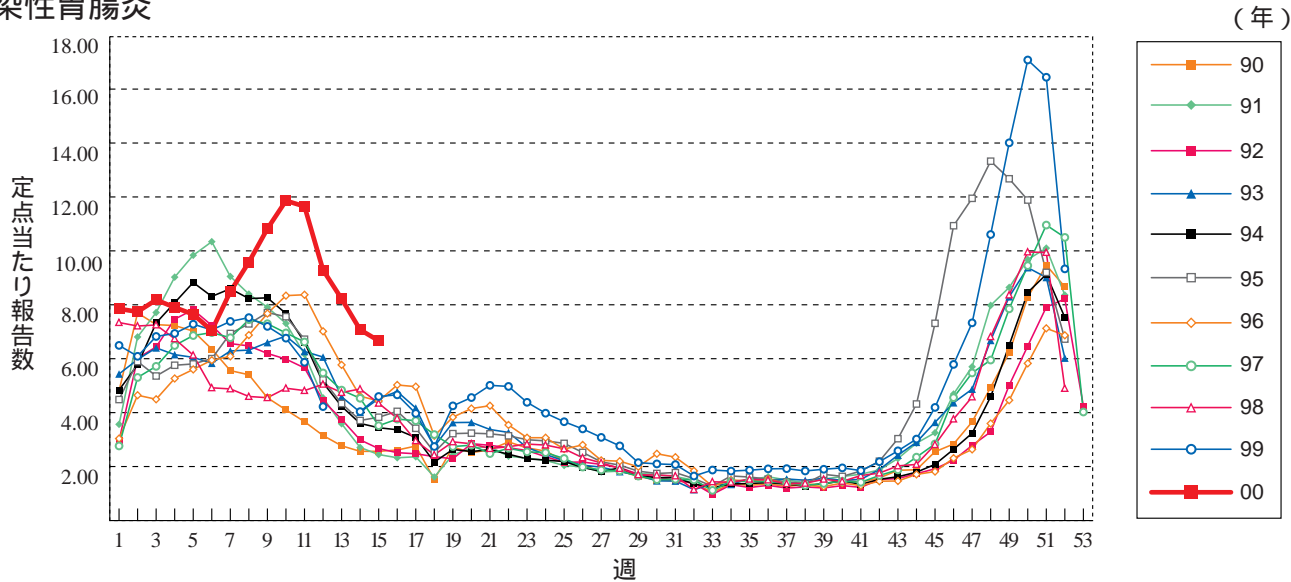
咽頭結膜熱



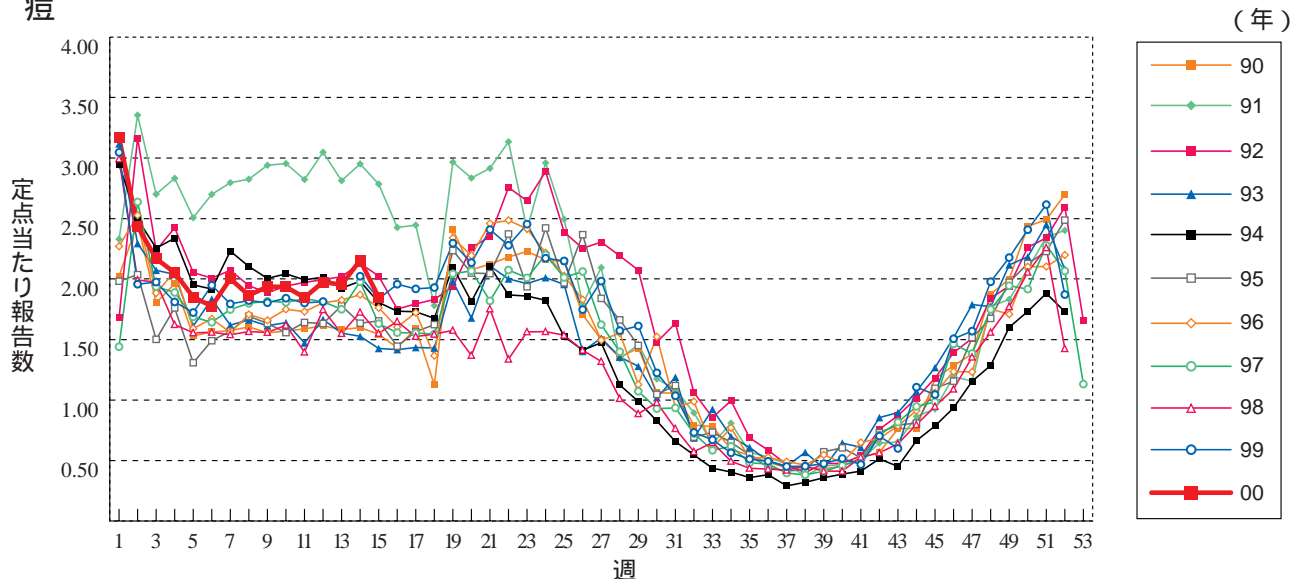
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



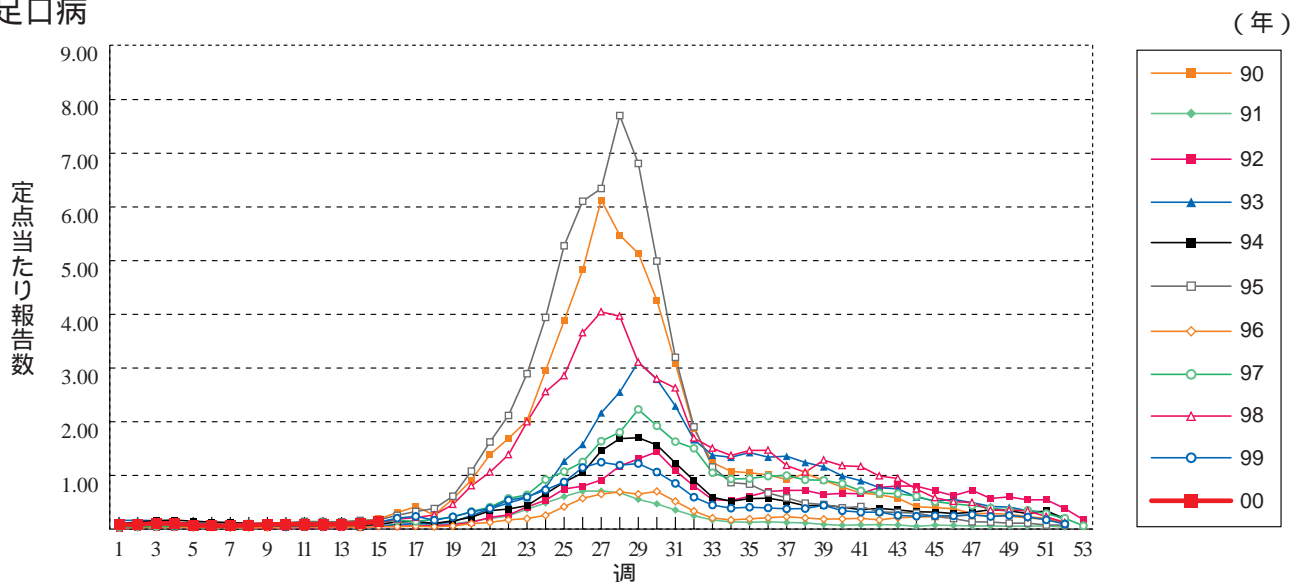
感染性胃腸炎



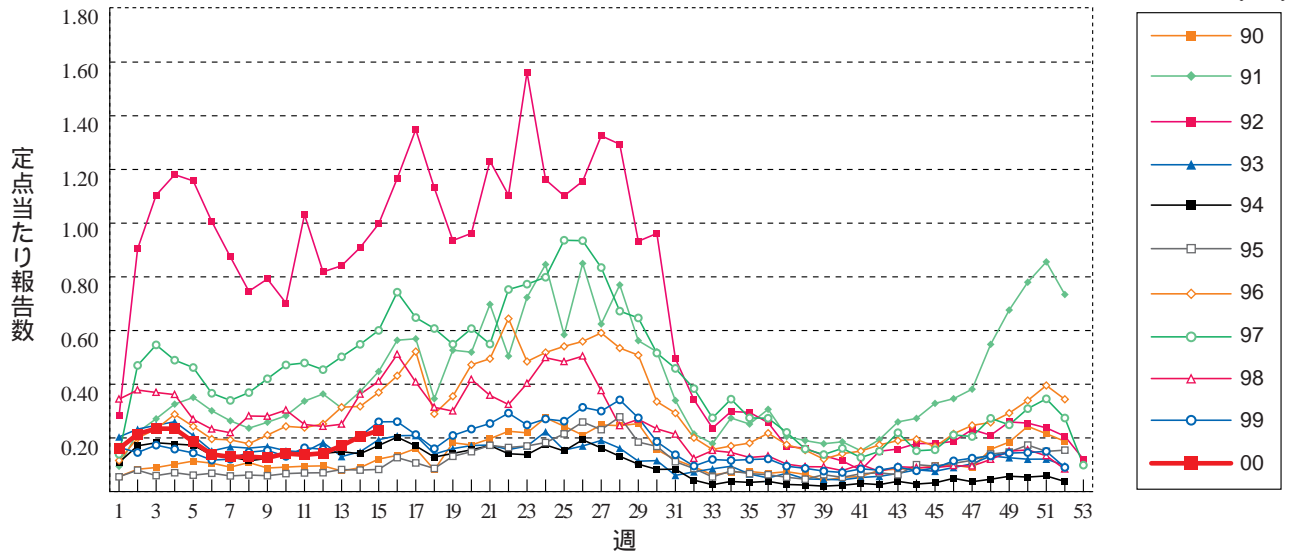
水痘



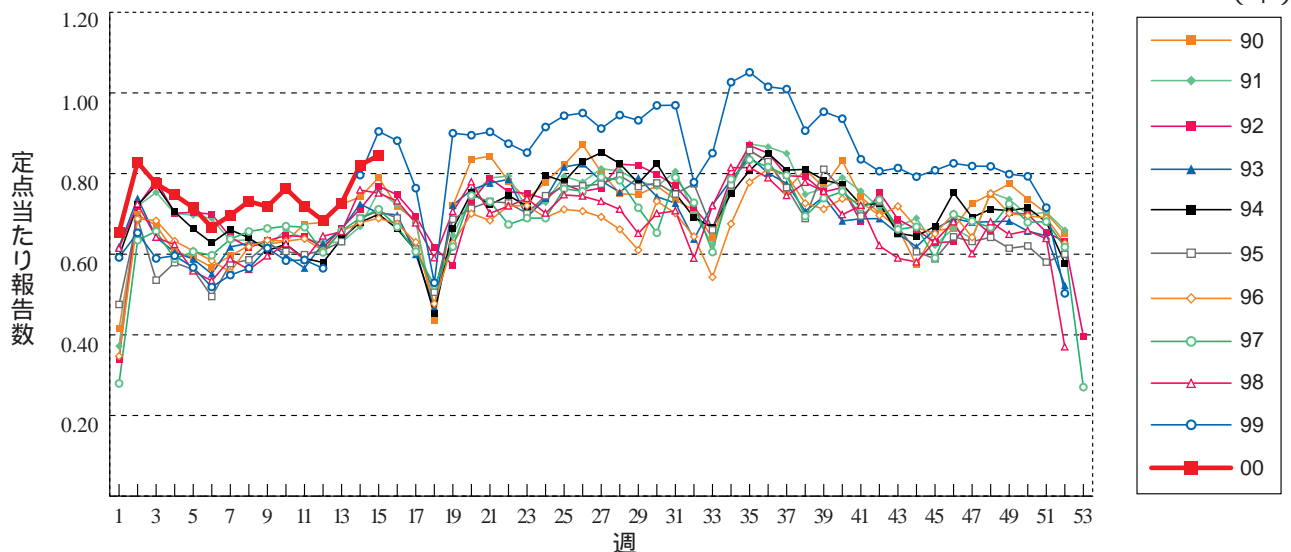
手足口病



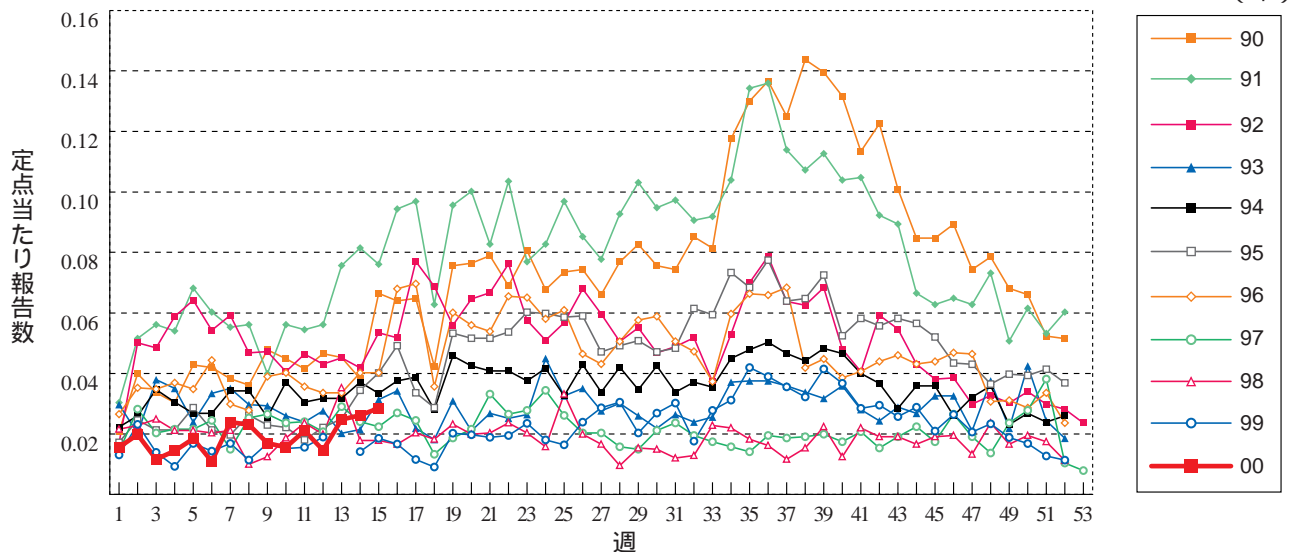
伝染性紅斑



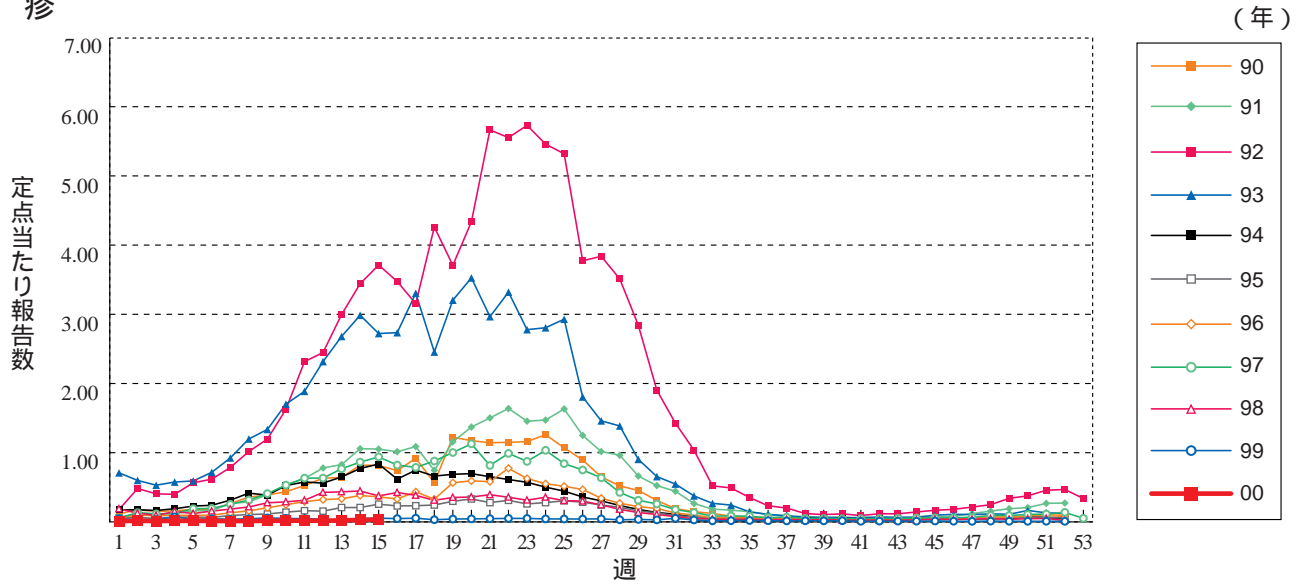
突発性発疹



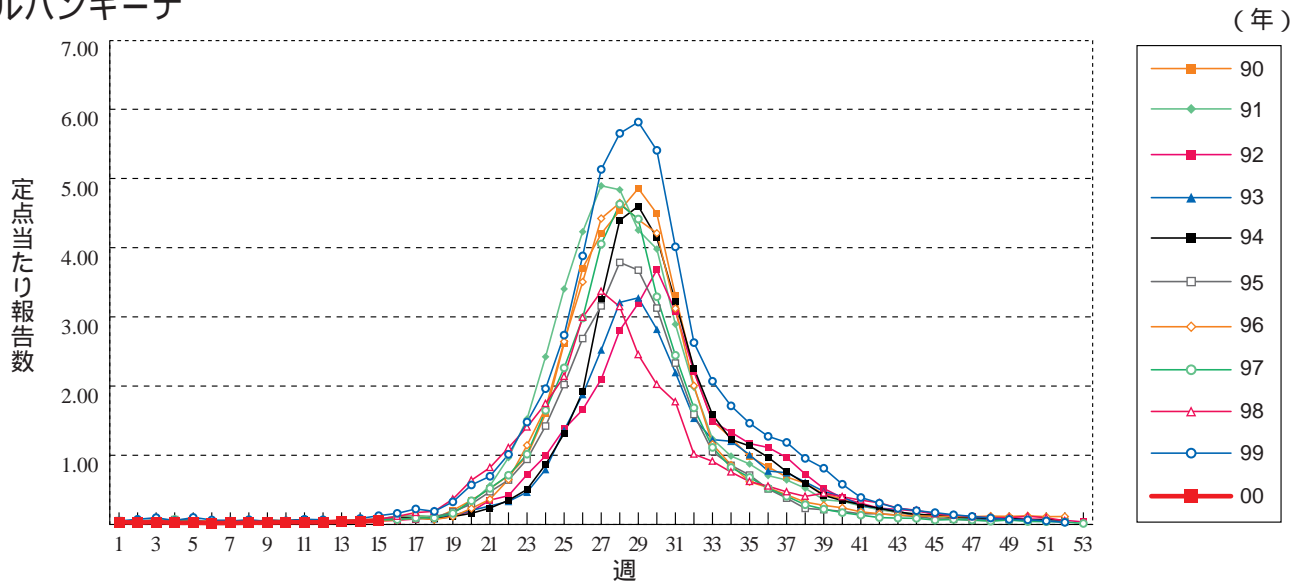
百日咳



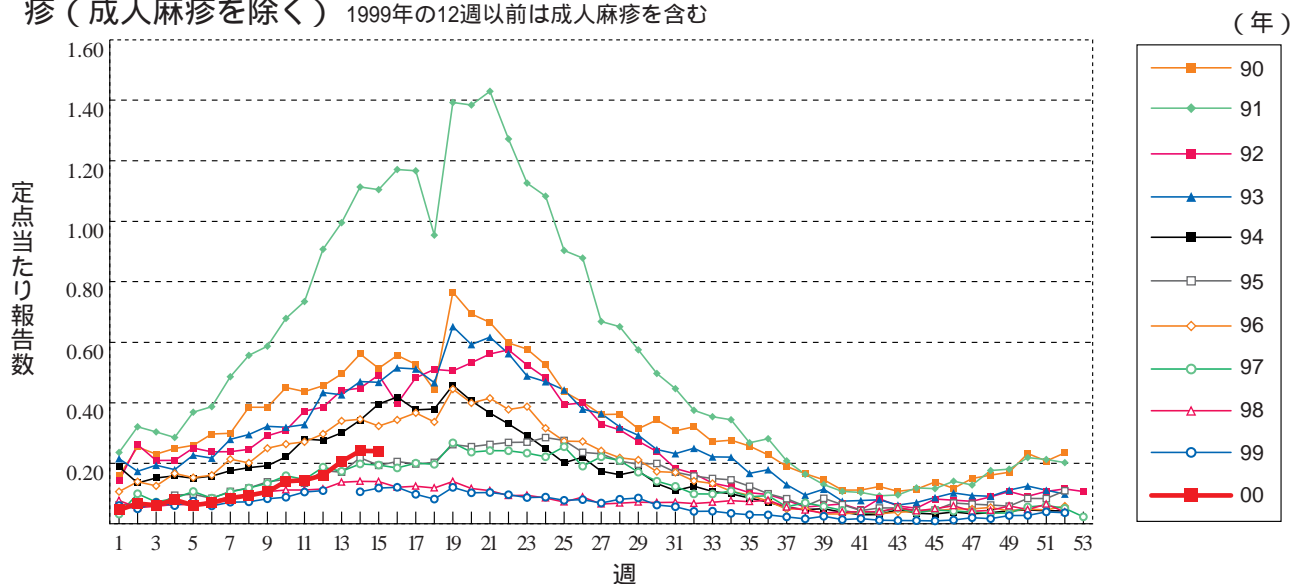
風 疹



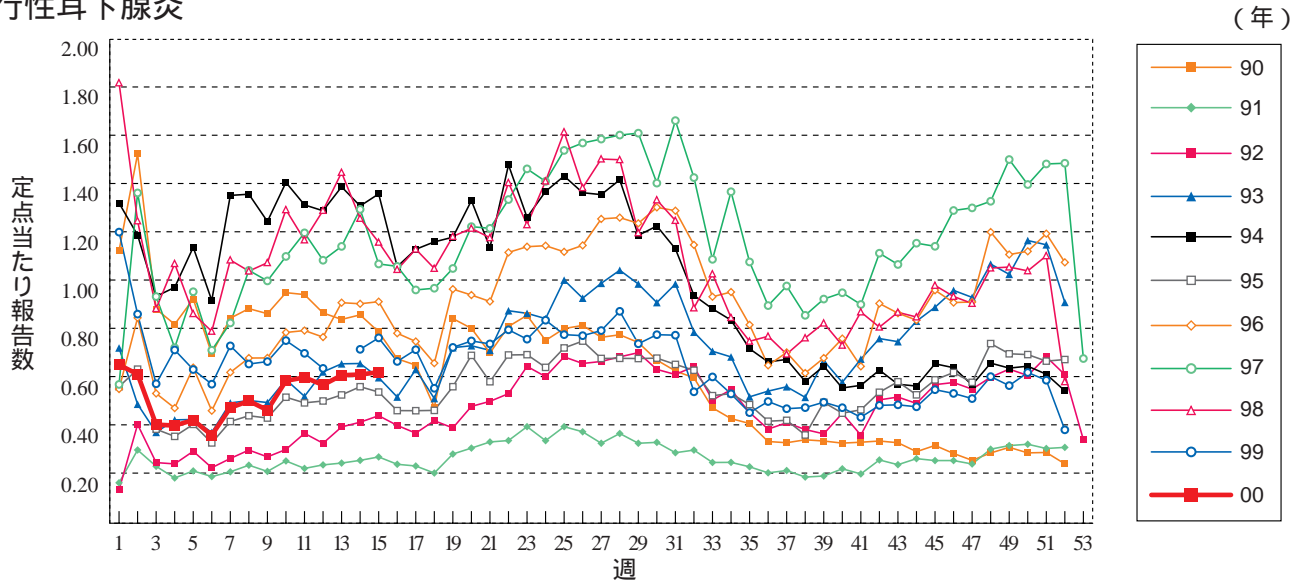
ヘルパンギーナ



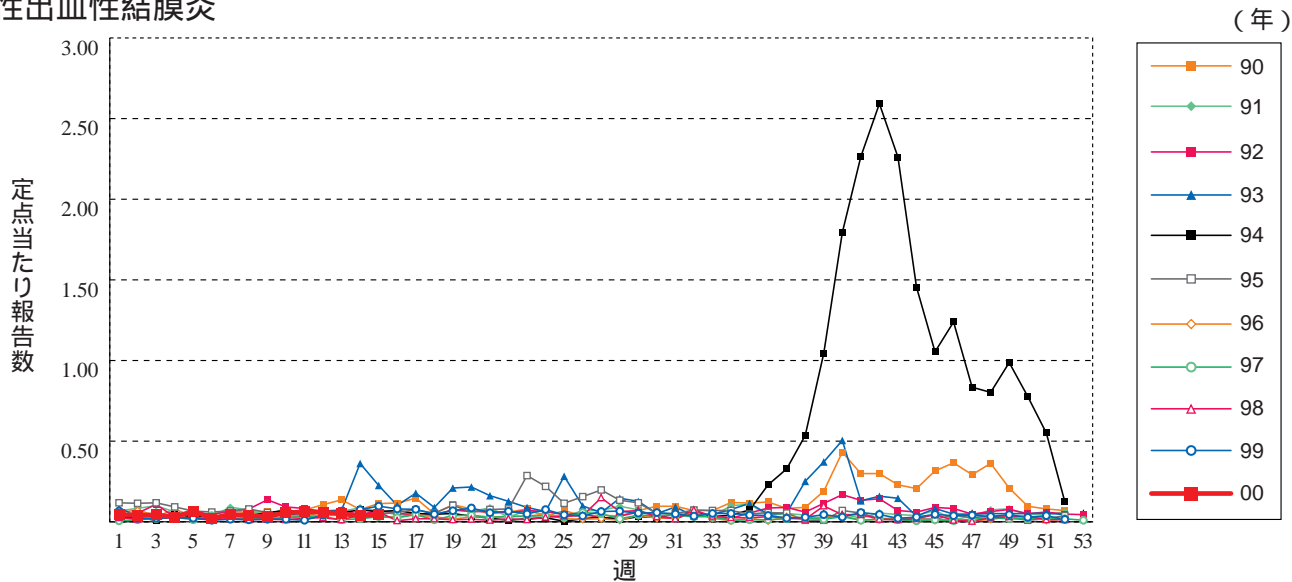
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



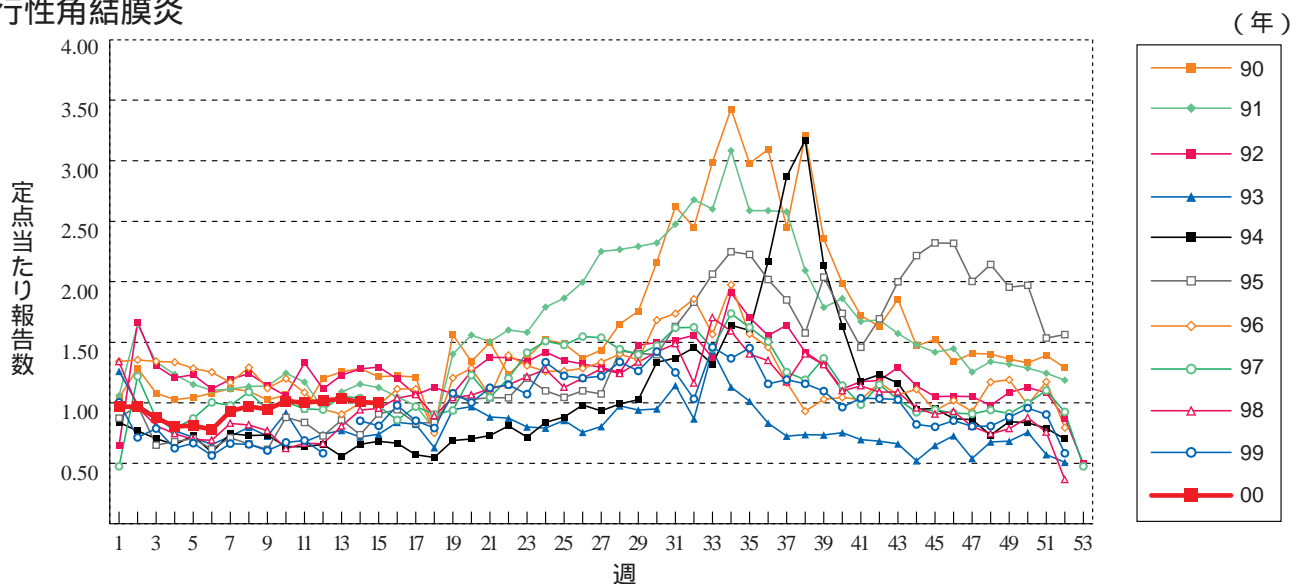
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

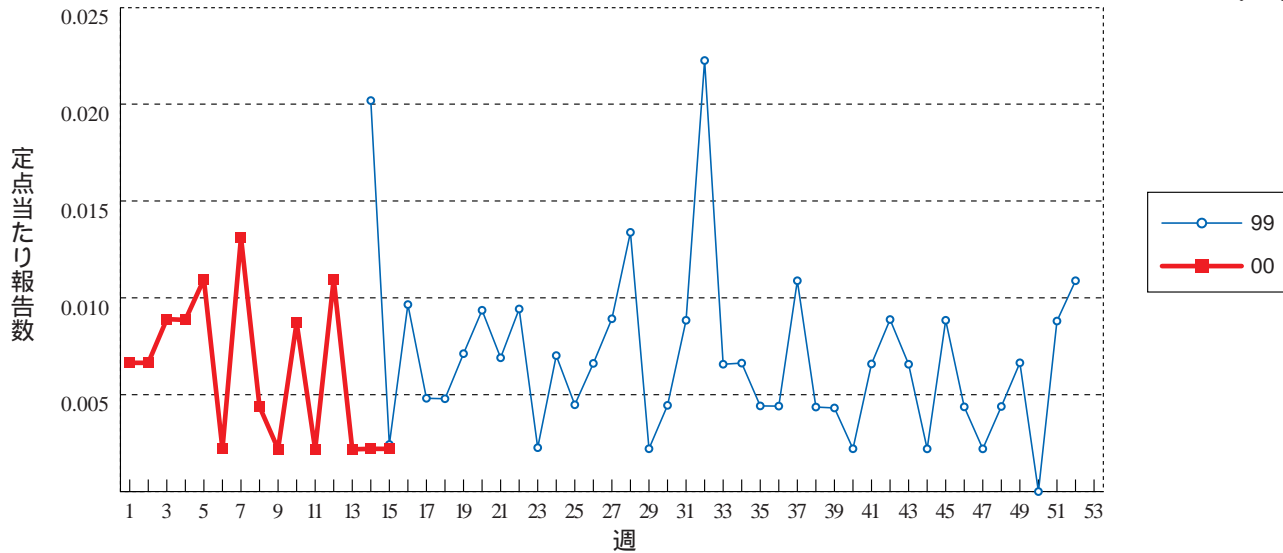


流行性角結膜炎



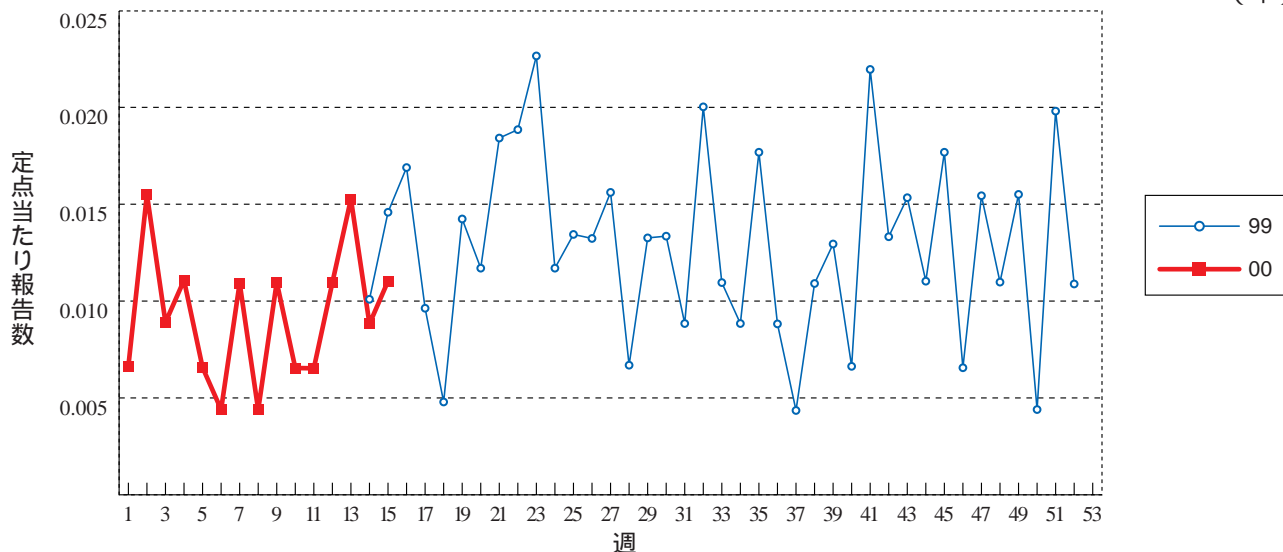
急性脳炎（日本脳炎を除く）

(年)



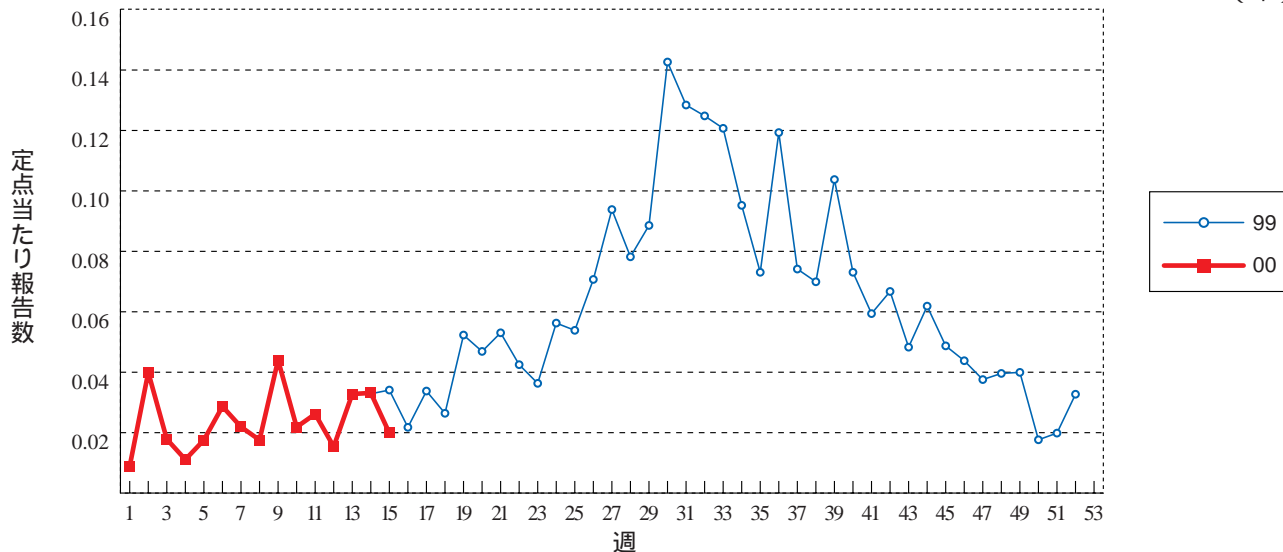
細菌性髄膜炎

(年)



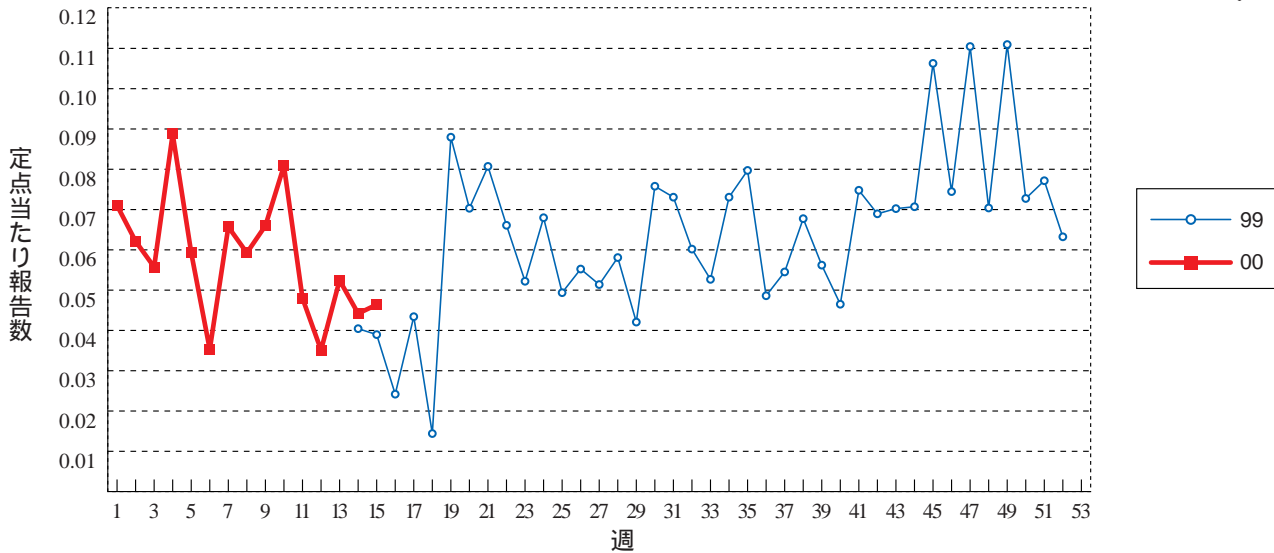
無菌性髄膜炎

(年)



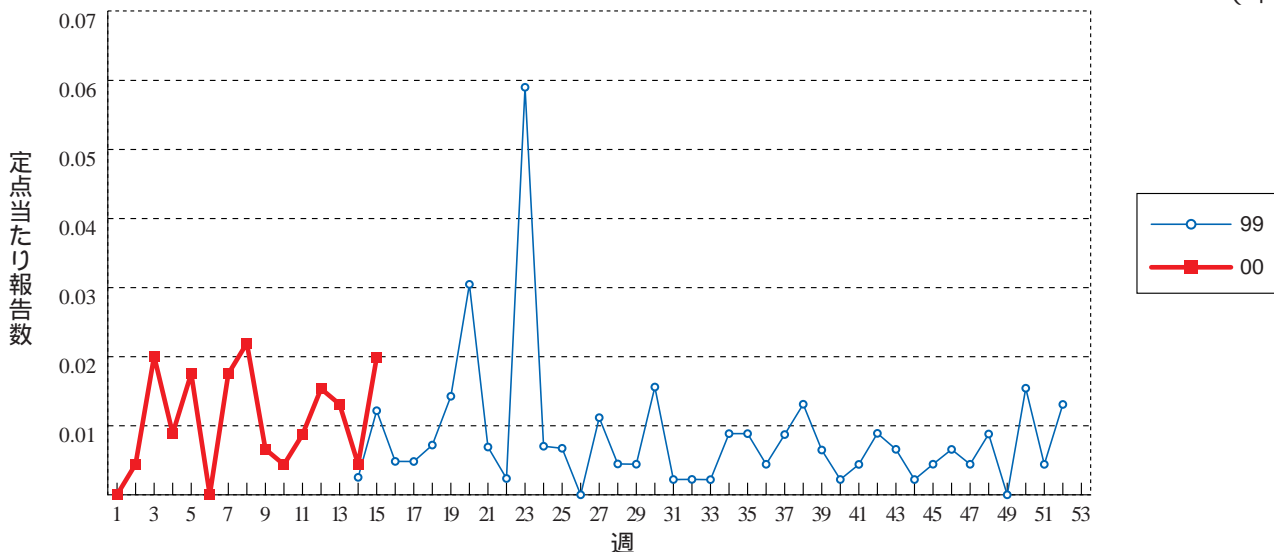
マイコプラズマ肺炎

(年)



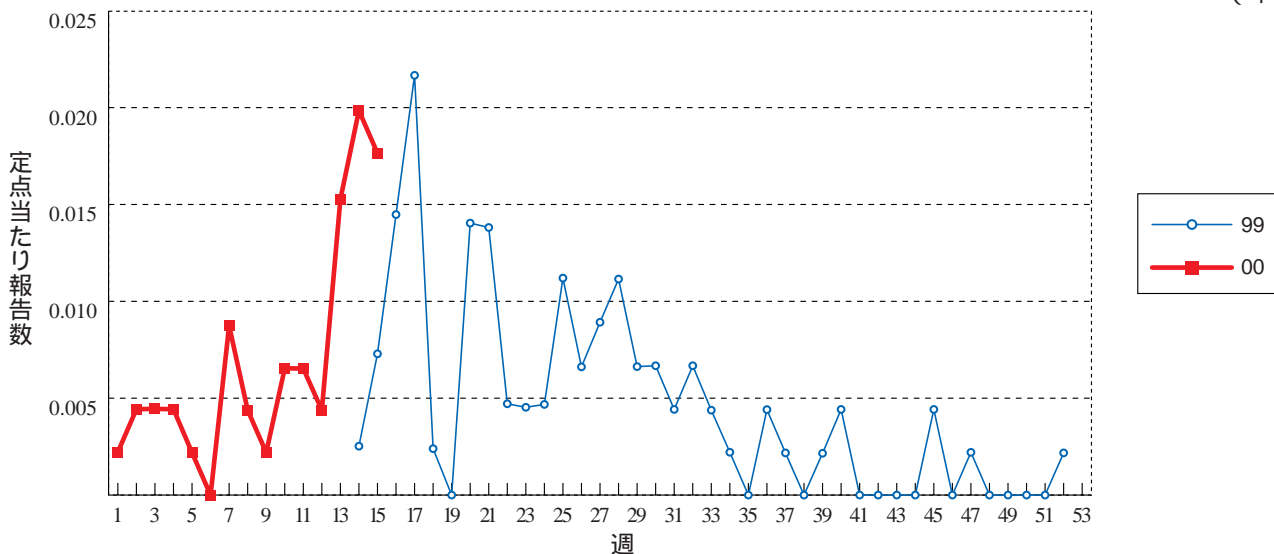
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





15週のデータ

注)表中の報告数は4月21日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年15週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		パラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	28	240	6	30	-	1
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	14	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	10	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	52	2	5	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	17	-	3	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	17	-	2	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	8	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	21	-	4	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	2	4	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	4	1	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	12	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年15週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	11	205	9	102	-	3	-	-	-	4	-	-	7	318
北海道	-	-	-	-	3	12	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4
青森県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
岩手県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
宮城県	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
秋田県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
群馬県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11
埼玉県	-	-	-	-	-	2	1	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
千葉県	-	-	-	-	1	8	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
東京都	-	-	-	-	-	16	1	32	-	-	-	-	-	1	-	-	1	37
神奈川県	-	-	-	-	-	18	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
新潟県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	16
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
静岡県	-	-	-	-	-	6	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	-	1	9	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11
三重県	-	-	-	-	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
京都府	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10
大阪府	-	-	-	-	2	13	1	20	-	-	-	-	-	1	-	-	-	30
兵庫県	-	-	-	-	1	9	2	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32
奈良県	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
和歌山県	-	-	-	-	1	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
広島県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
山口県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25
香川県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
愛媛県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
高知県	-	-	-	-	-	4	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
福岡県	-	-	-	-	-	32	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
佐賀県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
大分県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
鹿児島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
沖縄県	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年15週

	Q熱		狂犬病		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジオイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	1	30	-	15	8	176	1	1	6	25	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	10	-	-	-	3	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	2	-	2	1	12	-	-	-	1	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	4	-	-	3	66	1	1	3	5	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	12	-	-	-	6	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	4	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	9	-	-	-	2	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	4	-	-	2	4	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年15週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	8	-	-	-	-	-	57	1	2	-	-	-	-	-	-	6	214
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
千葉県	-	2	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
東京都	-	1	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	37
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	40
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	18
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	22	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年15週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	13	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	6	38	-	-	6	47
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1
東京都	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	20
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	3
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5	-	-	-	-
兵庫県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	3
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年15週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	458	0.10	124	0.04	2977	1.00	19948	6.69	5515	1.85	416	0.14	676	0.23	2520	0.85	85	0.03
北海道	19	0.08	1	0.01	180	1.19	402	2.66	170	1.13	5	0.03	36	0.24	95	0.63	1	0.01
青森県	12	0.19	-	-	32	0.78	78	1.90	52	1.27	-	-	12	0.29	31	0.76	-	-
岩手県	4	0.06	1	0.03	25	0.66	176	4.63	38	1.00	2	0.05	2	0.05	27	0.71	1	0.03
宮城県	26	0.27	2	0.03	58	1.00	400	6.90	107	1.84	4	0.07	57	0.98	75	1.29	5	0.09
秋田県	19	0.35	2	0.06	66	1.89	251	7.17	37	1.06	5	0.14	3	0.09	39	1.11	2	0.06
山形県	3	0.07	2	0.07	53	1.83	297	10.24	40	1.38	-	-	18	0.62	23	0.79	2	0.07
福島県	2	0.03	-	-	41	0.85	310	6.46	90	1.88	-	-	14	0.29	50	1.04	1	0.02
茨城県	11	0.10	2	0.03	82	1.14	410	5.69	90	1.25	4	0.06	10	0.14	34	0.47	2	0.03
栃木県	2	0.03	-	-	90	2.00	256	5.69	59	1.31	2	0.04	5	0.11	36	0.80	1	0.02
群馬県	2	0.02	-	-	87	1.40	390	6.29	91	1.47	5	0.08	10	0.16	48	0.77	2	0.03
埼玉県	25	0.10	4	0.03	204	1.27	1260	7.88	366	2.29	4	0.03	40	0.25	142	0.89	6	0.04
千葉県	14	0.07	9	0.07	194	1.45	830	6.19	283	2.11	11	0.08	48	0.36	105	0.78	-	-
東京都	3	0.02	2	0.01	83	0.58	715	5.04	156	1.10	12	0.08	34	0.24	68	0.48	1	0.01
神奈川県	26	0.08	11	0.05	223	1.08	1276	6.19	325	1.58	24	0.12	105	0.51	224	1.09	-	-
新潟県	27	0.27	7	0.12	138	2.30	639	10.65	103	1.72	1	0.02	38	0.63	60	1.00	-	-
富山県	8	0.17	-	-	42	1.45	353	12.17	50	1.72	3	0.10	2	0.07	28	0.97	-	-
石川県	4	0.08	-	-	26	0.90	326	11.24	77	2.66	-	-	6	0.21	18	0.62	-	-
福井県	-	-	1	0.05	45	2.05	281	12.77	31	1.41	-	-	1	0.05	24	1.09	-	-
山梨県	6	0.15	-	-	23	0.92	112	4.48	25	1.00	-	-	1	0.04	9	0.36	-	-
長野県	20	0.25	8	0.15	50	0.96	442	8.50	41	0.79	-	-	41	0.79	50	0.96	2	0.04
岐阜県	17	0.20	3	0.06	59	1.11	284	5.36	65	1.23	1	0.02	5	0.09	24	0.45	1	0.02
静岡県	4	0.03	2	0.02	82	0.95	692	8.05	239	2.78	9	0.10	13	0.15	90	1.05	4	0.05
愛知県	33	0.17	11	0.06	116	0.64	873	4.80	287	1.58	8	0.04	26	0.14	130	0.71	5	0.03
三重県	1	0.01	2	0.04	45	1.00	501	11.13	86	1.91	-	-	2	0.04	58	1.29	2	0.04
滋賀県	5	0.10	1	0.03	45	1.41	129	4.03	53	1.66	-	-	-	-	17	0.53	-	-
京都府	44	0.35	-	-	33	0.43	478	6.29	84	1.11	-	-	5	0.07	54	0.71	1	0.01
大阪府	11	0.04	19	0.10	120	0.63	978	5.17	304	1.61	43	0.23	27	0.14	144	0.76	6	0.03
兵庫県	12	0.06	5	0.04	62	0.48	1162	9.08	306	2.39	12	0.09	19	0.15	166	1.30	3	0.02
奈良県	2	0.04	-	-	33	0.94	249	7.11	64	1.83	22	0.63	2	0.06	26	0.74	2	0.06
和歌山県	10	0.20	1	0.03	23	0.72	177	5.53	92	2.88	2	0.06	4	0.13	22	0.69	-	-
鳥取県	5	0.17	4	0.21	94	4.95	241	12.68	26	1.37	1	0.05	2	0.11	22	1.16	-	-
島根県	6	0.18	1	0.04	11	0.48	200	8.70	32	1.39	-	-	3	0.13	10	0.43	1	0.04
岡山県	4	0.05	2	0.04	27	0.50	374	6.93	138	2.56	-	-	6	0.11	37	0.69	3	0.06
広島県	2	0.02	3	0.06	26	0.51	489	9.59	78	1.53	3	0.06	5	0.10	37	0.73	1	0.02
山口県	2	0.03	6	0.12	54	1.10	375	7.65	87	1.78	-	-	3	0.06	67	1.37	2	0.04
徳島県	6	0.16	-	-	12	0.52	161	7.00	51	2.22	3	0.13	-	-	22	0.96	-	-
香川県	1	0.02	-	-	14	0.44	173	5.41	93	2.91	2	0.06	3	0.09	27	0.84	-	-
愛媛県	1	0.02	-	-	41	1.05	430	11.03	101	2.59	7	0.18	1	0.03	39	1.00	1	0.03
高知県	3	0.06	3	0.10	31	1.00	277	8.94	67	2.16	4	0.13	5	0.16	21	0.68	-	-
福岡県	3	0.02	-	-	52	0.66	616	7.80	215	2.72	39	0.49	24	0.30	71	0.90	4	0.05
佐賀県	-	-	-	-	26	1.00	90	3.46	70	2.69	10	0.38	4	0.15	53	2.04	-	-
長崎県	-	-	-	-	8	0.18	132	3.00	58	1.32	14	0.32	2	0.05	20	0.45	-	-
熊本県	5	0.06	1	0.02	34	0.69	303	6.18	119	2.43	88	1.80	5	0.10	61	1.24	2	0.04
大分県	2	0.03	1	0.03	33	0.92	387	10.75	61	1.69	3	0.08	10	0.28	37	1.03	5	0.14
宮崎県	6	0.10	1	0.03	96	2.59	468	12.65	146	3.95	-	-	4	0.11	37	1.00	8	0.22
鹿児島県	31	0.32	3	0.05	47	0.78	445	7.42	173	2.88	52	0.87	10	0.17	37	0.62	8	0.13
沖縄県	9	0.16	3	0.09	11	0.32	60	1.76	189	5.56	11	0.32	3	0.09	5	0.15	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年15週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	103	0.03	167	0.06	716	0.24	1862	0.62	27	0.04	623	1.00	1	0.00	5	0.01	9	0.02
北海道	4	0.03	2	0.01	6	0.04	80	0.53	-	-	21	0.68	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	8	0.20	3	0.07	25	0.61	-	-	4	0.36	-	-	-	-	-	-
岩手県	1	0.03	10	0.26	28	0.74	10	0.26	-	-	6	0.50	-	-	-	-	-	-
宮城県	2	0.03	5	0.09	4	0.07	6	0.10	-	-	2	0.18	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	2	0.06	1	0.03	11	0.31	1	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	6	0.21	-	-	1	0.13	-	-	-	-	-	-
福島県	3	0.06	6	0.13	16	0.33	13	0.27	-	-	14	1.17	-	-	1	0.14	-	-
茨城県	-	-	1	0.01	32	0.44	29	0.40	-	-	58	3.63	-	-	-	-	-	-
栃木県	2	0.04	1	0.02	57	1.27	5	0.11	1	0.08	27	2.25	-	-	-	-	-	-
群馬県	2	0.03	3	0.05	2	0.03	92	1.48	2	0.14	16	1.14	-	-	-	-	-	-
埼玉県	2	0.01	14	0.09	27	0.17	180	1.13	1	0.03	61	1.69	-	-	1	0.11	1	0.11
千葉県	9	0.07	7	0.05	100	0.75	119	0.89	2	0.06	38	1.09	-	-	-	-	-	-
東京都	6	0.04	13	0.09	11	0.08	59	0.42	-	-	15	1.07	-	-	-	-	-	-
神奈川県	10	0.05	11	0.05	16	0.08	123	0.60	-	-	67	1.60	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	1	0.02	-	-	24	0.40	-	-	5	0.56	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	3	0.10	-	-	5	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20
石川県	-	-	-	-	-	-	3	0.10	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	1	0.05	-	-	8	0.36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	3	0.12	3	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	1	0.02	2	0.04	25	0.48	-	-	15	1.50	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	2	0.04	32	0.60	21	0.40	-	-	4	0.36	-	-	-	-	-	-
静岡県	2	0.02	-	-	5	0.06	117	1.36	-	-	8	0.38	-	-	-	-	-	-
愛知県	6	0.03	4	0.02	7	0.04	87	0.48	-	-	24	0.69	-	-	-	-	-	-
三重県	2	0.04	2	0.04	-	-	55	1.22	-	-	5	0.42	-	-	1	0.11	-	-
滋賀県	3	0.09	-	-	32	1.00	9	0.28	-	-	7	1.00	-	-	-	-	-	-
京都府	3	0.04	1	0.01	4	0.05	29	0.38	-	-	3	0.17	-	-	-	-	-	-
大阪府	12	0.06	15	0.08	145	0.77	63	0.33	4	0.08	30	0.58	-	-	-	-	-	-
兵庫県	2	0.02	2	0.02	58	0.45	124	0.97	1	0.03	28	0.80	-	-	-	-	-	-
奈良県	1	0.03	1	0.03	11	0.31	25	0.71	-	-	9	1.00	-	-	-	-	1	0.17
和歌山県	1	0.03	-	-	23	0.72	9	0.28	-	-	1	0.25	1	0.09	-	-	-	-
鳥取県	1	0.05	-	-	-	-	14	0.74	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20
島根県	-	-	-	-	-	-	13	0.57	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
岡山県	4	0.07	6	0.11	21	0.39	38	0.70	1	0.08	10	0.83	-	-	-	-	-	-
広島県	2	0.04	1	0.02	2	0.04	61	1.20	1	0.08	24	2.00	-	-	-	-	1	0.07
山口県	-	-	-	-	-	-	67	1.37	-	-	7	0.78	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	2	0.09	3	0.13	2	0.09	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
香川県	2	0.06	-	-	45	1.41	18	0.56	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
愛媛県	4	0.10	3	0.08	2	0.05	8	0.21	-	-	5	0.71	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	1	0.03	5	0.16	21	0.68	-	-	4	1.33	-	-	1	0.14	-	-
福岡県	1	0.01	11	0.14	8	0.10	56	0.71	-	-	15	0.83	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	3	0.12	-	-	22	0.85	-	-	4	1.00	-	-	-	-	1	0.17
長崎県	-	-	2	0.05	-	-	29	0.66	7	0.88	14	1.75	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	12	0.24	-	-	70	1.43	1	0.11	16	1.78	-	-	-	-	1	0.07
大分県	-	-	2	0.06	-	-	9	0.25	-	-	13	2.60	-	-	-	-	1	0.13
宮崎県	16	0.43	1	0.03	4	0.11	64	1.73	1	0.25	7	1.75	-	-	-	-	1	0.14
鹿児島県	-	-	3	0.05	1	0.02	4	0.07	-	-	7	1.17	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	4	0.12	-	-	1	0.03	4	0.40	17	1.70	-	-	1	0.14	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成12年15週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	21	0.05	9	0.02	8	0.02
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	1	0.05	-	-	-	-
宮城県	6	0.50	2	0.17	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-
山形県	1	0.11	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	1	0.11	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	3	0.12
神奈川県	-	-	-	-	1	0.09
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-
愛知県	1	0.08	-	-	-	-
三重県	-	-	1	0.11	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-
兵庫県	2	0.14	-	-	1	0.07
奈良県	1	0.17	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	1	0.20	2	0.40	1	0.20
広島県	4	0.29	-	-	-	-
山口県	1	0.11	1	0.11	-	-
徳島県	-	-	-	-	1	0.17
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	1	0.07
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	3	0.43	2	0.29	-	-

感染症週報 第2巻、第15号 平成12年4月28日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生省保健医療局結核感染症課
 厚生省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhw.go.jp/>
 <厚生省>
<http://www.narita-airport.or.jp/quarantine/>
 <成田空港検疫所>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。